



平成 20 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 橋本 昇
(J A S D A Q ・ コード 6 8 3 8)

問合せ先

役職・氏名 代表取締役副社長 山越 裕介
電話 0 4 6 7 - 7 9 - 7 0 2 7

平成 20 年 3 月期通期連結業績予想の修正及び 配当予想の修正並びに特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、この度、平成 19 年 11 月 19 日付に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想及び平成 20 年 4 月 11 日に公表した配当について下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

1. 平成 20 年 3 月期 通期業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,273	59	66	61
今回修正 (B)	4,012	135	108	△76
増減額 (B - A)	739	76	42	△137
増減率	22.5%	128.8%	63.6%	—

(2) 修正理由

当社連結子会社の事業が、予想以上に好調に推移したことにより、売上高、営業利益、経常利益において上方修正いたします。特に子会社の株式会社多摩川電子における携帯電話基地局向けのフィルター等の製品が好調に推移したことと、平成 19 年 10 月 1 日に子会社化したアプライト・テクノロジーズ社の第 4 四半期（2007 年 10 月から 12 月まで）の売上高が約 228 百万円寄与したことから、前回予想を 739 百万円（増減率 22.5%）上回る見込みです。また営業利益は 76 百万円（増減率 128.8%）、経常利益は 42 百万円（増減率 63.6%）上回る見込みです。当期純損失は 76 百万円となる見込みではありますが、保有投資有価証券の売却損によるものであります。

2. 配当予想の修正

(1) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：円)

	中間	期末	通期
前回公表	—	6	6
今回修正	—	0	0
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	—	6	6

(2) 修正理由

当社はこれまで、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、安定して配当を継続して行ってまいりましたが、個別の通期業績予想につきまして、投資有価証券の売却や、投資損失引当金等、273百万円の特別損失の計上等により十分な分配可能額を確保するのが困難となる見込みであります。今後の財務体質の強化、及び経営環境の変化に対応するために必要な内部留保金額の確保などを勘案した結果、誠に遺憾ながら無配に修正させていただく予定であります。

3. 特別損失の計上について

(連結)

保有株式投資信託の売却による損失が144百万円発生いたしました。又、自然災害による固定資産除却損11百万円等を含め合計166百万円の特別損失を計上する予定です。

(個別)

上記保有株式投資信託の売却損に加え、子会社株式の評価見直しによる投資損失引当金115百万円など273百万円を特別損失として計上する予定です。

※将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果は様々な要因の変化により、これら見通しとは異なる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。

以 上